

平成27年度「瀬戸内海考古学研究会」第5回大会案内

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

早速ですが、下記のように今年度の大会要領が決まりましたので、ご案内申し上げます。今回は九州と瀬戸内が最前線で向き合う豊と伊予の交通関係の一端を明らかにしようと「豊と伊予の考古学」を大会テーマといたしました。その交通関係を縄文弥生の姫島産黒曜石と弥生後期の複合口縁壺（いわゆる安国寺式土器）から迫ってみたいと思います。

今回も愛媛大学考古学研究室・同東アジア古代鉄文化研究センターと共同で開催しておりますので、奮ってご参加ください。

考古学の発展と文化財の共有化をめざして！

2015年4月

瀬戸内海考古学研究会代表 下條信行

大会要領

メインテーマ “豊と伊予の考古学”

日時：2015（平成27）年6月13（土）・14（日）
会場：研究発表 愛媛大学 南加記念ホール
（松山市文京町3 愛媛大学城北キャンパス、正門すぐ北）
13日（土） 12:50～17:20
14日（日） 9:00～13:00
懇親会 愛媛大学 セ・トリアン（南加記念ホール北隣）
13日（土） 18:00～20:00
（研究会は無料、懇親会は4,000円）

《研究発表》

6月13日（土） 12:50～17:00

開 会 挨拶 瀬戸内海考古学研究会代表 下條 信行 12:50～13:00
宮内 克己（大分県埋蔵文化財文化財センター） 「姫島産黒曜石とその製品」
13:00～13:40
加島 次郎（(公財)松山市文化・スポーツ振興財団）「伊予における姫島産黒曜石と製品」
13:40～14:20

— 休 憩（10分） —

松浦 憲治（大分市教育委員会）「大分平野・国東半島における複合口縁壺」
14：30～15：10
江藤 和幸（宇佐市教育委員会）「豊前南部・宇佐平野における複合口縁壺」
15：10～15：50

—休 憩（10分）—

田畑 直彦（山口大学）「山口県（長門・周防）における複合口縁壺」
16：00～16：40
伊藤 実（広島県教育事業団）「安芸における複合口縁壺」
16：40～17：20

6月14日（日） 9:00～13:00

高木邦宏（西予市教育委員会）「愛媛県南予における複合口縁壺」 9：00～ 9：40
梅木謙一（松山市考古館）「愛媛県中予における複合口縁壺」 9：40～10：20
松村さを里（愛媛県埋蔵文化財文化財センター）「愛媛県東予における複合口縁壺」
10：20～11：00

—休 憩（20分）—

シンポジウム：複合口縁壺に見る地域性と連携性 11：20～12：50
司会：坪根伸也（大分市教育委員会）、下條信行
閉会挨拶 瀬戸内海考古学研究会副代表 谷若倫郎 12：50～13：00

《懇親会》

日時：6月13日（土） 18:00～20:00
会場：愛媛大学 セ・トリアン（発表会場の北隣）
会費：4,000円

- *研究発表時間は一人40分ですが、これには質疑応答時間の5分を含みます。
- *研究会への参加は無料で、資格は問いません。申し込みも不要です。
- *発表要旨集（予稿集）は頒価1,500円前後を予定しています。
- *懇親会参加者は所属、名前、連絡先を明記のうえ、5月30日までにメールかハガキで下記事務局宛てに申し込んでください。会費は当日受付で申し受けます。

事務局：〒790-0861 松山市紅葉町2-57 下條 信行
電話089-933-1809
Eメール：n.shimojo-kouko@aroma.ocn.ne.jp